

領内出張所だより

89



秋景

平成 29 年
(2017 年)

10月

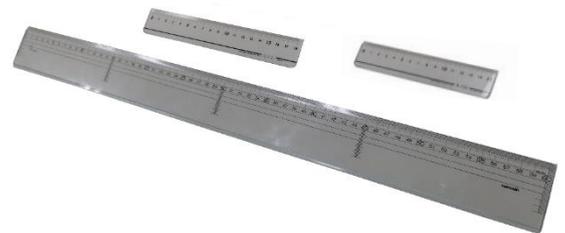
はかる道具

長さを測る道具は“物差し”と呼ぶのが正しいそうです。一方、線を引く道具は“定規”として扱われ、それぞれの役割の違いで区別されています。巻き尺などはピンっと張って使用しても、うまく直線を引くことは出来ないから定規ではなくて物差しですね。ちょっと直線を引くのに名刺を使ったことがありましたが、あれは定規の代用だったってことになります。ちなみに定規は曲線定規や雲形定規といったものもあり、直線だけでなく用途にあわせて多種多様です。

では、物差しのほうはどうでしょうか。昭和の高度成長期にかかる前はまだ竹製・金属製がほとんどでした。巻き尺に至っては布繊維を使って長さに変化が生じないように製造されていたりしました。それがいつの間にか樹脂製のものをわたしたちは普段使いに多用するようになっていました。化学技術が向上して高精度の製品を安価で手にすることが出来るようになったからです。

物差しにも代用の利くものがたくさんあります。それは身近にあるもので、普段生活に欠かせないもののなかに見受けられます。硬貨や紙幣などは経済を動かす優れた道具でもありますが、大きさが決まっているので手軽に財布やポケットから出して長さなどのおおよその見当を付けることに使えます。現行の紙幣は高さ（短辺）を揃えているため、どのお札も 7.6 cm になっています。

他にも誰もが持っているもので使えるものがあります。運転免許証、キャッシュカード、クレジットカード、健康保険証などは大きさが同じくらいに出来ているようです。



定規？ 物差し？



みんなが所有している訳ではありませんが、個人によっては常時携帯しているものが物差しの代用品に利用出来ます。例えば、喫煙者はタバコとライターを持っているので、予めその寸法を知っておくと便利です。愛用の傘や杖、ズボンのベルトの長さなども覚えている人にとっては物差しの代わりになり得るのです。携帯電話やスマートフォン、財布やバッグなども使えますね。

多く流通しているものほど手に入りやすく規格どおりに仕上がっているのは当然なのですが、その代表的なものが郵便はがきです。横（短辺）がちょうど 10 cm なので覚えておいてください。



紙巻たばこ



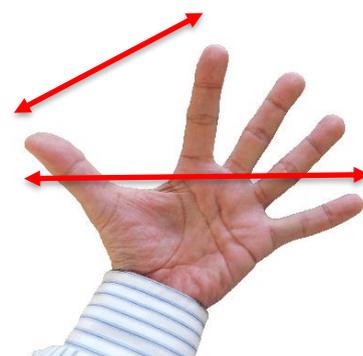
郵便はがき

ヒトではかる

実は何も携えていなくても“はかる”ことは出来ます。自身の手のひらを拡げて親指と人さし指、または親指と小指で“尺取虫のように”測っていくと結構な長さまでいけます。大股歩きで距離を測ったりしたのとあわせて、子供の頃に楽しんでやっていた遊びのようなものでした。と同時に大小長短などの寸法の感覚やものとの距離感などをヒトは成長とともに身につけてきました。自身のなかに様々なことをはかる“物差し”を持つことが出来るようになってわたしたちは歩いていけるようになったのかも知れません。

大杉谷の六十尋滝や千尋滝といった落差の大きい様を名前にした滝は、ヒトが両腕を拡げた一尋（ひとひろ）が単位になっています。身長もそうですし、“1フィート”は元々足を世界基準にしたものですよね。

もしかすると、ヒトの身体が一番の道具ではないでしょうか。自身の身体は使いようによっては活かすことがもっともっと出来る、ヒトそのものが“利器”であるのです。



(完)

今月の催し

ご協力ください!

宮川小学校PTAによる

10月29日(日) リサイクル資源回収

※ 10月22日(日)の予定でしたが、台風のため延期になりました。

新聞紙

広告

雑誌

ダンボール

アルミ缶



各地区の **ごみステーション**へ 出してください

11月5日(日) 領内秋まつり

11時30分～

領内地域総合センター

お誘い合わせて みなさんでお越しください!



11月12日(日) どんとこい大台まつり

10時～ 奥伊勢フォレストピア

4年ぶりに宮川地域で開催されます!



あとがき

今月に入っても台風の心配をするとは思っていませんでした。伊勢のほうでは影響が出ており、三月まで通っていた職場の近辺はかなりの被害があったと聞きました。当事者の方にすれば何から手を付けたらいいのか困惑してしまっていると思われます。

ボランティアの受付が今日から始まるようですが、初期の復旧段階では応援の手を借りることが有効だとされています。長期になってくると、そのかたちも変化していかないとストレスの起因になってしまいます。

台風時などに避難所で過ごす際には、様々なことで普段と違う環境に身を置くこととなります。そういった時に少しでも安心していただくために、“備え”について誌面で何号かにわたって紹介していきたいと計画中です。併せて出張所でも出来る準備を進めていけたらと考えています。